

1. 七隈線延伸事業の進捗状況について

- 1. 全体スケジュールP1
- 2. 工事の進捗状況P1~5

平成30年11月29日(木)

福岡市交通局

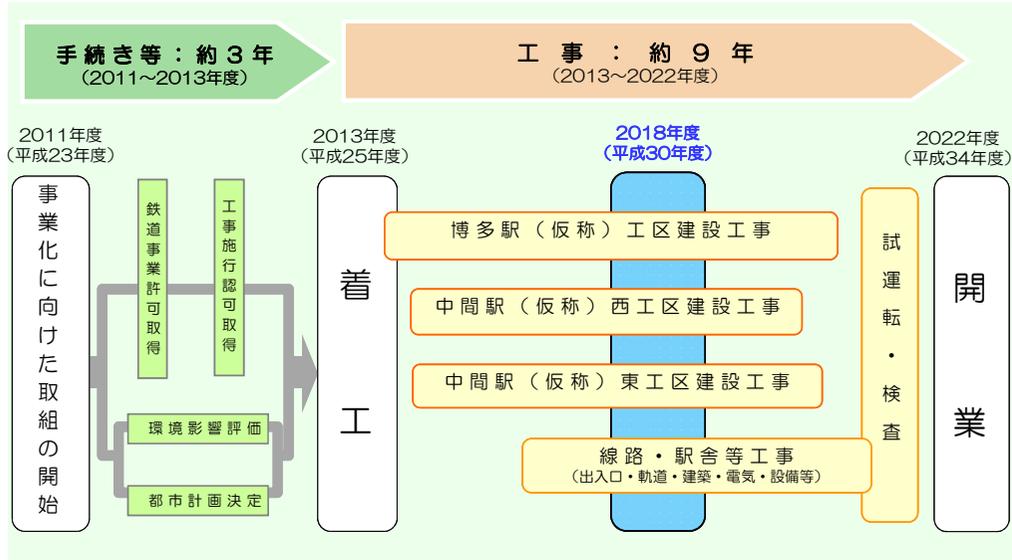
1. 全体スケジュール

七隈線延伸事業は、平成23年度より事業化へ向けた取組を開始し、鉄道事業許可や工事施行認可を取得するとともに、環境影響評価や都市計画決定等の手続きを進め、平成25年度に土木本体工事に着手した。また、平成28年度には中間駅（仮称）の出入口工事に着手した。

これまで、2020年度（平成32年度）開業を目指し、事業を進めてきたが、平成28年11月8日の道路陥没事故を受けて、その影響を踏まえつつ、安全な施工を最優先に全体工程を調整・精査した結果、開業時期については、2022年度（平成34年度）の見込みとなった。

また、全体事業費については、物価上昇や駅施設の利便性の拡充など、社会情勢の変化による影響や、道路陥没事故の影響に伴い、約450億円から約587億円へ増加する見込みとなった。

◆全体スケジュール



(参考) 事業概要

- 延伸区間 天神南～博多
- 建設キロ 約1.4 km（営業キロ約1.6 km）
- 建設費 約587億円
- 利用人数 延伸区間で約8.2万人/日（このうち新規利用者数…約2.3万人/日）
- 開業予定 2022年度

2. 工事の進捗状況

(1) 土木本体工事の概要

土木本体工事については、「中間駅（仮称）西工区」、「中間駅（仮称）東工区」、「博多駅（仮称）工区」3つの工区に分割し、平成25年度に工事契約を締結した。



工事名	福岡市地下鉄七隈線 中間駅（仮称）西工区建設工事	福岡市地下鉄七隈線 中間駅（仮称）東工区建設工事	福岡市地下鉄七隈線 博多駅（仮称）工区建設工事
受注業者	大林・熊谷・大本・東田中 建設工事共同企業体	銭高・日本国土・九建 建設工事共同企業体	大成・佐藤・森本・三軌・西光 建設工事共同企業体
工事概要	工事延長 L=670.9m ・シールド工法 L=569.9m ・開削工法 L=138.7m	工事延長 L=469.6m ・シールド工法 L=426.1m ・開削工法 L=43.5m	工事延長 L=279.3m ・都市タム工法 L=195.6m ・開削工法 L=83.7m (アンダーピニング工法)

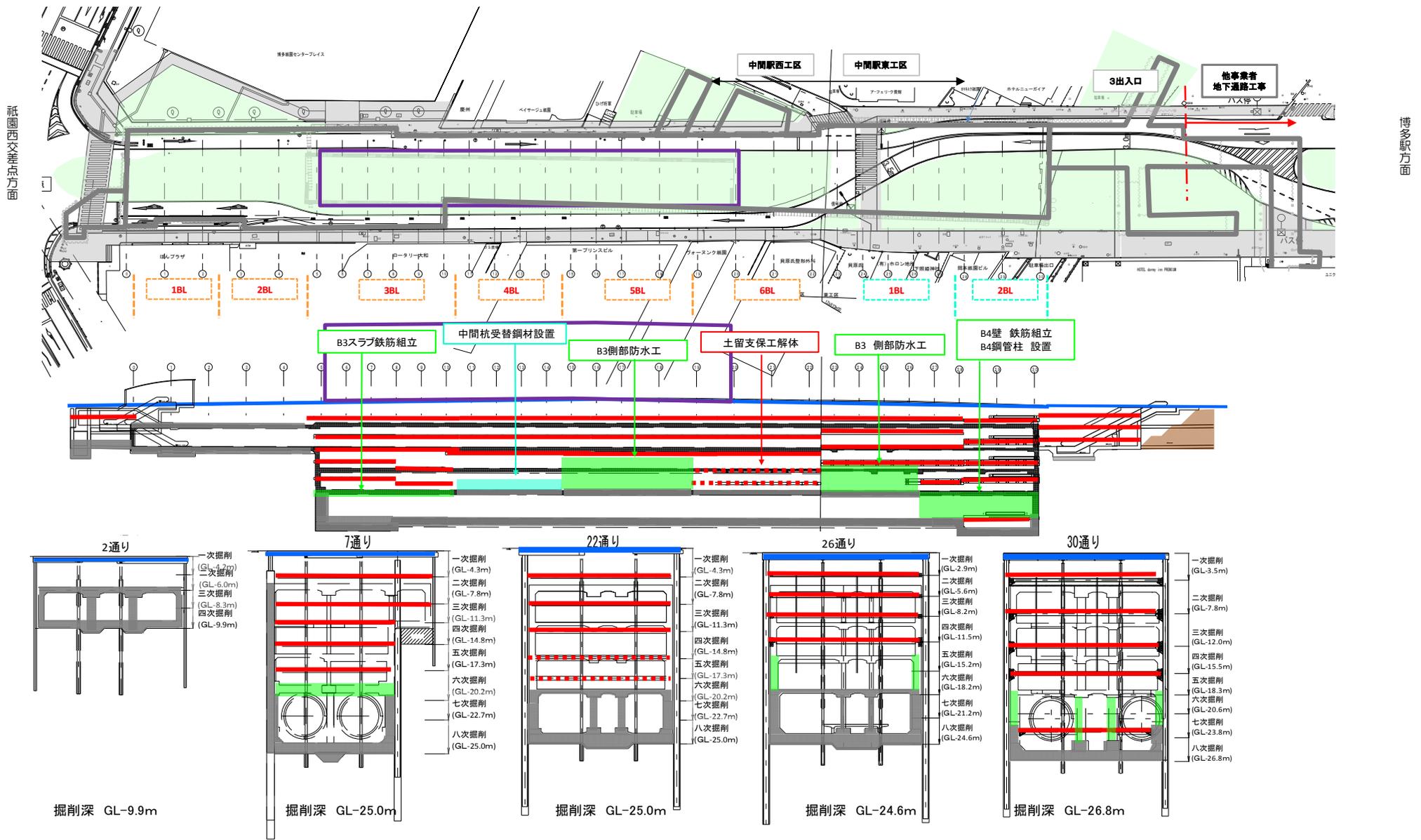
2. 工事の進捗状況

(2) 中間駅（仮称）西・東工区の進捗状況

中間駅（仮称）西・東工区については、駅舎となる部分の掘削工事がすべて完了し、現在は、地下3～4階層の駅舎構築を行っている。

また、中間駅西工区については、シールド発進に向けた準備として、防音ハウスを建設するとともに、現在、国道道路を占用しながら、

地盤改良による到達防護を進めている。中間駅東工区においては、地上の道路占用を切り替えながら、3出入口となる部分の掘削工事を実施している。



2. 工事の進捗状況

(2) 中間駅（仮称）西・東工区の進捗状況

■はかた駅前通りの道路占用状況



< 祇園町西交差点方面より撮影 >



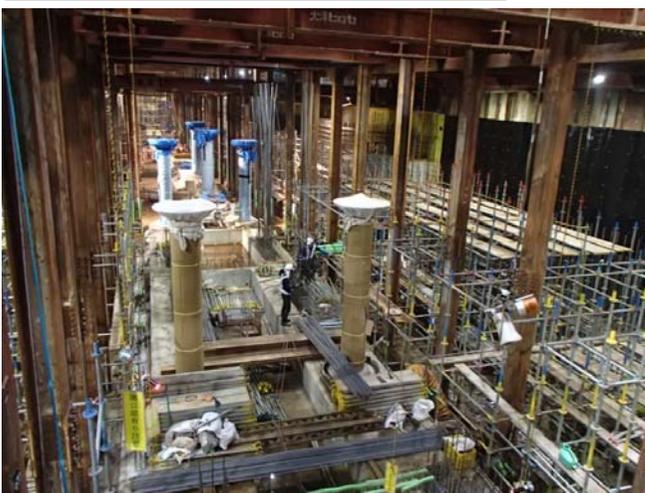
< 博多駅方面より撮影 >

■躯体施工状況（平成30年11月撮影）



< 中間駅西工区：地下1階層にて撮影 >

■鋼管柱の建込状況（平成30年10月撮影）



< 中間駅東工区：地下4階層にて撮影 >

■シールド発進坑口の構築状況（平成30年10月撮影）



< 中間駅西工区：地下4階層にて撮影 >

■シールドマシン（中間駅西工区）

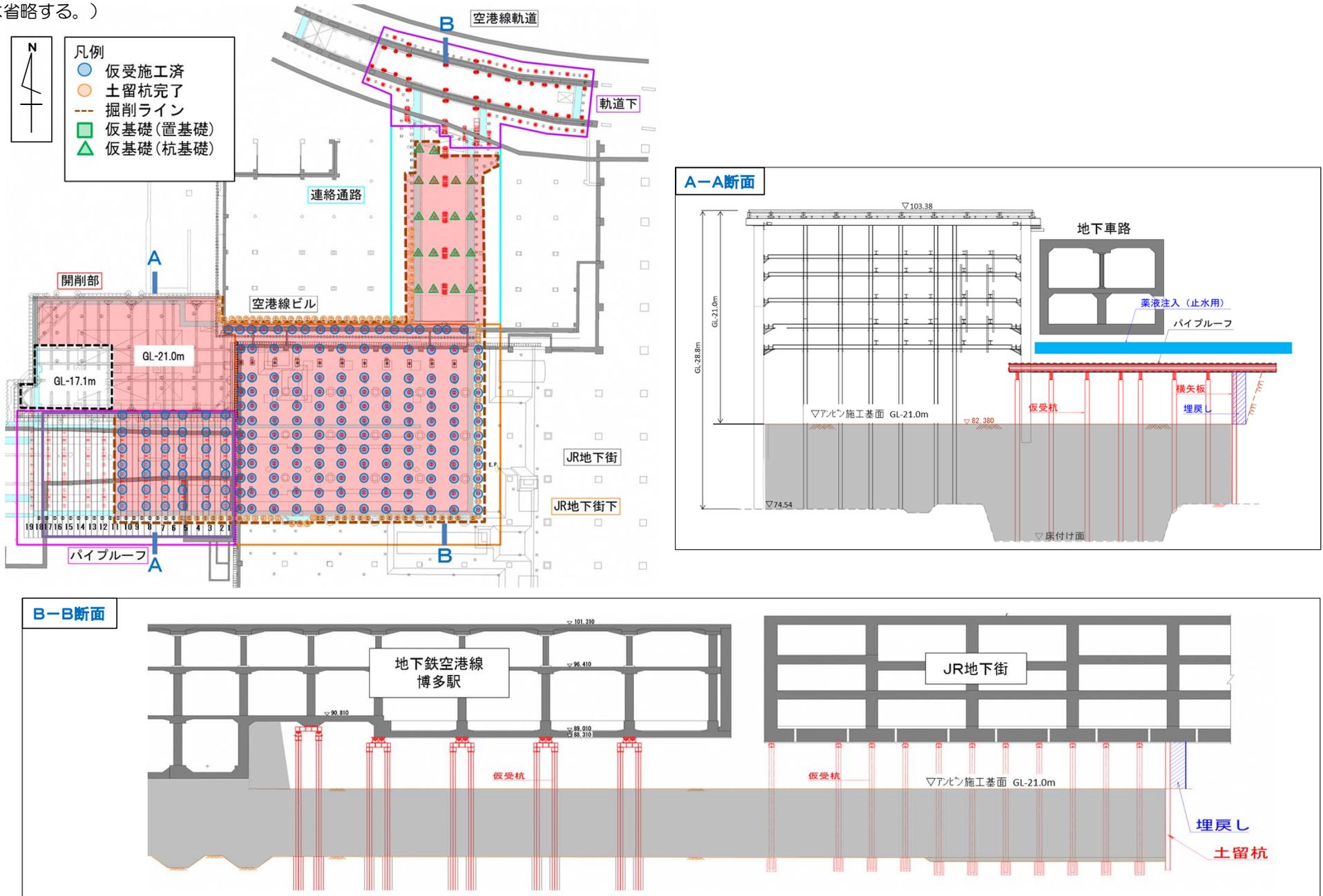


< 製作工場にて撮影 >

2. 工事の進捗状況

(3) 博多駅（仮称）工区の進捗状況

博多駅（仮称）工区【開削部】については、アンダーピニング工を行っているが、JR地下街部の仮受が完了し、現在、空港線連絡通路部やパイプルーフ下部の掘削・仮受工を実施している。（※なお、【ナトム部】における進捗状況は、【報告事項】 2. 道路陥没部やトンネル坑内の現在の状況について にて別途報告するため、当該項目では省略する。）



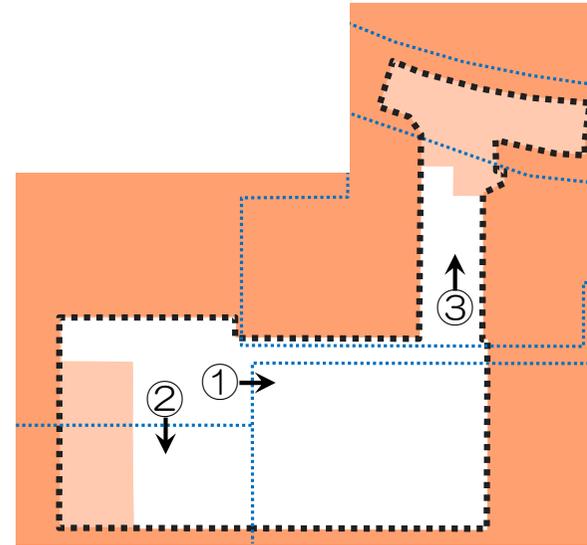
2. 工事の進捗状況

(3) 博多駅（仮称）工区の進捗状況

■住吉通りの道路占用状況

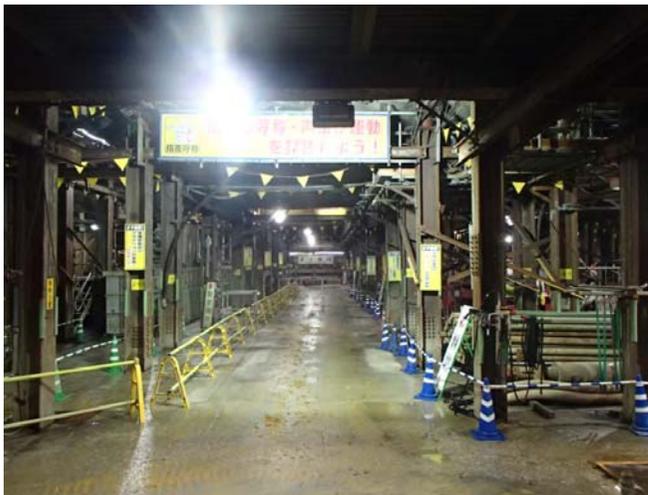


<博多駅バスターミナル方面より撮影>



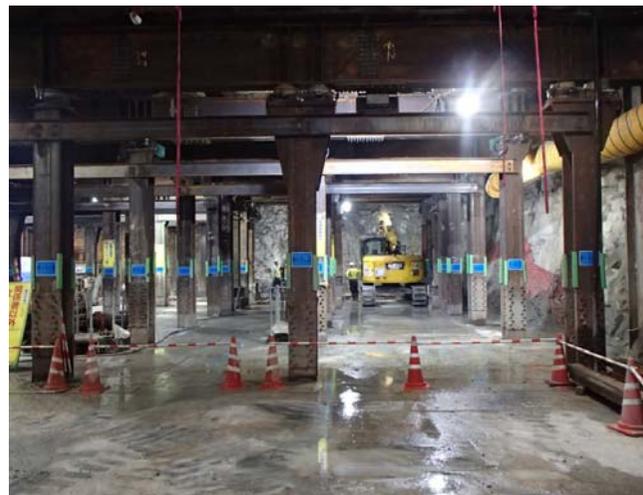
<平面図>

■JR地下街下部の仮受状況（完了）



<①方向より撮影>

■パイプルーフ下部の仮受状況（施工中）



<②方向より撮影>

■空港線連絡通路部の仮受状況（施工中）



<③方向より撮影>